

渡辺 勝幸

宮城県議会議員渡辺勝幸

県政レポート 第26号

発行 宮城県議会議員渡辺勝幸事務所

発行日 令和4年5月29日

宮城県議会 第382回(令和4年2月) 定例会を終えました!

2月14日、宮城県議会第382回(令和4年2月)定例会が開会されました。この議会においては、新型コロナウイルス対策として医療体制の整備や、経済支援の費用を盛り込んだ**総額1兆1,000億円余りの令和4年度本予算**を可決。令和4年度一年間の県民の暮らしを支えるこの新年度予算には、新型コロナへの対策費として、新たに受け入れ病床を確保するなど医療体制を整備する費用としておよそ441億円、飲食店などへの時短要請を行った場合の協力金として360億円、落ち込んだ地域経済への対策として、県民が県内の店舗でキャッシュレス決済をした際にポイントを上乘せる事業に11億円が盛り込まれています。また、人口減少を見据え、「次世代育成・応援基金」を新たに設け、不妊治療に関する検査に1人あたり2万円の補助や、外国人への日本語教育を支援する費用も盛り込まれています。

この議会に先立ち、自由民主党・県民会議会派として、所属議員34名の要望を集約し、全50項目にわたる「令和4年度当初予算に関する要望」を、村井知事に対して1月11日に行ないました。特に、「**子供・子育て**」「**コロナ対策**」「**農林水産業**」は重点的に要望し、この要望内容を踏まえ、この当初予算原案に取り入れていただきました。

この令和4年度本予算には共産会派が反対討論に立ったため、渡辺勝幸が自民党会派を代表して、賛成討論に登壇しました。

自由民主党・県民会議「議第1号議案 令和4年度一般会計予算案」についての賛成討論(要約)

本議案は「宮城の未来を育むハートフル予算」として、本格的な人口減少局面への対応のほか、震災からの復興・復興や新型コロナウイルス感染症対策、脱炭素社会の実現に向けた取組といった県政の重要課題への対応に必要な予算が適切に計上されており、時宜を得たもの。

県内には、新型コロナウイルス感染症対策や震災復興への対応など、今回の予算を待ちわびる多くの県民の姿がある。そのような状況において、県が進める一連の施策の一部に反対であることをもって、予算の全てに反対の姿勢を示すことは、誠意ある姿勢とは考えにくい。

なお、私から知事に対して一言申し上げたいところがある。昨年の知事選挙で示された政策集には、県政運営の基本姿勢の1つとして「衆知を集める県政」が謳われている。そこには「県民の皆様の懐に飛び込んで、あるいは、「情報公開等を通じて県政の透明性を確保して」、さらには「市町村のご意見をよく聞き」といった説明があった。私は、東日本大震災をはじめとする困難な県政課題への対応にあたり、国などのハードな交渉にも臆すること無く向きあってきた村井知事の功績を評価するものではあるが、4病院の統合・合築や「みやぎ型管理運営方式」といったテーマは、県民生活の根幹に関わるものであり、県民の皆様や私も県議会に対する丁寧な説明は、何にも増して重要なものである。今回の予算案の内容に疑義はないが、今後の議論や予算の執行にあたっては、5度目の知事選挙における大差での勝利を背景に、よもや慢心されることの無いよう、政策集の内容を踏まえた、ハートフルな御対応をお願いしたい。(全文は渡辺勝幸ホームページに掲載しています。https://katsuyuki.jp)



また、補正予算としては、感染症の拡大防止や社会経済活動の再開等について予算化するとともに、被災養殖施設への緊急対策に要する経費を予算化した**第10号補正予算(総額614億6,200万円)**、年度末処理を伴う**第11号補正予算**について審議が行われました。

さらに、決議・意見書については、会期中盤の3月3日に、「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議」を全会一致で可決、また最終日の3月18日に、「台湾のCPTPP(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)への加入に向けた積極的な働きかけを求める意見書」について自民・佐々木幸士議員より提案理由説明、共産会派より反対討論、石川光次郎議員より賛成討論、採決においては社民、無所属の会が退席した後、賛成多数で可決。続いて、「沖縄戦戦没者の遺骨収集を推進し、その尊厳を守ることを求める意見書」につき全会一致で可決しました。

新年度宮城県予算の主な内容について紹介します

1 新型コロナウイルス感染拡大防止対策と社会経済活動の両立

新規 11億円 / みやぎキャッシュレス推進ポイント還元費

キャッシュレス決済の推進を通じた小売業やサービス業への支援

23億6,200万円 / ワクチン接種加速化推進費

新型コロナウイルスワクチンの追加接種の実施に係る大規模接種会場の運営

3,100万円 / 商店街ステップアップ支援費

感染対策を踏まえた集客イベントやDXに取り組む商店街等への支援

拡充 441億5,400万円 / 医療提供体制整備費

新型コロナウイルス感染症患者専用の病棟を設定する医療機関等における病床の確保等

1億3,600万円 / みやぎ飲食店コロナ対策認証制度運用費

飲食店における感染防止策実施の促進と認証制度の運用

2 被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポート

1億1,800万円 / みやぎ地域復興支援費

被災者の生活再建等をきめ細かに支援するNPO等への助成

2億7,730万円 / 地域コミュニティ再生支援費

住民主体の地域コミュニティ再生活動への支援

1億650万円 / NPO等の絆力を活かした震災復興支援費

復興の進展に伴う課題に対応した切れ目のない支援による被災者の心の復興の促進

3 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

新規 5,000万円 / ものづくり中核企業AI・IoT導入等支援費

地域経済を牽引する中小企業に対する生産性向上や省力化に向けた支援

新規 10億円 / 放射光施設設置推進支援費

次世代放射光施設整備に向けた整備・運用事業者への支援

新規 250万円 / 日本語学校開設検討費

市町村と連携した公的関与による日本語学校の開設に向けた可能性調査

拡充 2,026万円 / 県産食品海外ビジネスマッチング支援費

県産食品の輸出拡大に向けた取組への支援



新規 1億5,800万円 / 中小企業等デジタル化支援費

デジタル技術を活用した生産性向上や事業拡大に取り組む中小企業等に対する支援

2億6,685万円 / みやぎの園芸振興プロジェクト推進費

園芸生産の拡大に向けた取組の総合的な推進

4 社会全体で支える宮城の子ども・子育て

新規 10億円 / 次世代育成・応援基金造成費

子ども・子育て支援や若者の職業生活における活躍の推進のための基金造成

新規 4,000万円 / 不妊検査費用助成費

不妊を心配する夫婦や子どもを望む夫婦の早期の不妊検査受診に向けた支援

拡充 4,640万円 / 医療的ケア等体制整備推進費

医療的ケア児等相談支援センターの新規開設、地域で支援を受けられる体制の構築

拡充 2,652万円 / 不登校等児童生徒学び支援教室運営費

小中学校への学び支援教室の設置による学習指導及び社会的自立支援

新規 1,700万円 / ヤングケアラー支援体制整備費

実態調査の実施と早期発見や対応力の向上を通じたヤングケアラーへの支援

5 誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

新規 3,400万円 / Z世代推し事(お仕事)はかどるプロジェクト推進費

推し活と就活の相互推進による若者の県内定着と県外からの人材確保の推進

新規 2,200万円 / みやぎ農業女子育成プロジェクト推進費

女性の新規就農者確保に向けた農業体験の実施、女性農業者の就労環境整備への支援

新規 3億6,970万円 / 県民会館・NPOプラザ複合施設整備費

県有施設の再編に向けた基本構想に基づく新築設計等

新規 1,114万円 / 公立夜間中学校設置支援費

仙台市が若林区の南小泉中学校において開設準備を進める夜間中学校の設置費用への助成

新規 29億5,700万円 / 高齢者施設職員処遇改善支援費

介護事業所・施設に勤務する職員を対象とした賃金引上げへの支援

拡充 1,529万円 / 特殊詐欺被害防止対策費

特殊詐欺被害の未然防止のための防犯意識の醸成及び特殊詐欺電話撃退装置等の購入助成

6 強靱で自然と調和した県土づくり

新規 2,995万円 / カーボンニュートラルポート形成計画策定費

仙台塩釜港におけるカーボンニュートラルポート形成計画の策定に向けた調査等

新規 2,200万円 / 緊急時避難円滑化推進費

避難時間の短縮に向けた避難退域時検査等場所の改善策の検討

宮城県議会経済商工観光委員会委員長としての主な活動

- 2月定例会経済商工観光委員会では、新年度予算の審議を中心に県経済商工観光部及び労働委員会事務局の所管に属する事項に取り組みました。予算外議案の審査、報告事項など。
- 4月13日、宮城県議会経済商工観光委員会委員長として、仙台商工会議所 顧問・参与懇談会に出席。ホテルメトロポリタン仙台。
- 4月21日、執行部新任職員紹介の後、報告事項2件。令和4年3月16日福島県沖を震源とする地震に伴う被害状況等について、経済商工観光部令和4年度行政施策概要説明について、「第5期みやぎ観光戦略プラン(中間案)について」集中審議。

そのほか、委員会運営の事前打合せや予算の分科会審査をはじめ各課との様々な打合せなどに委員長として取り組みました。

宮城県議会少子化対策特別委員会

- 1月19日、委員間討議。2月9日、執行部事業概要説明。
- 4月18日、参考人意見聴取。国立大学法人東北大学大学院経済学研究科 吉田浩高齢経済社会研究センター長による「宮城県の少子化の特徴について」、公益社団法人宮城県医師会 佐々木悦子常任理事による「宮城県における少子化対策について」お話を伺いました。

宮城県議会議員定数・選挙区等検討委員会

令和5年県議選の在り方も含め、議員定数・選挙区の議論を進めています。

自由民主党・県民会議政務調査会長

昨年11月に、自民党会派の政務調査会長に就任し、各会派政務調査会長会議の座長として、全会派の政務調査会長と調整し、県議会の政策形成について活動をしています。この2月議会においては、議会開会前から連日、会派内の意見調整、他会派との調整に取り組んでいました。特に、意見書・決議等の会派間調整に取り組み、2月議会においては、決議案1件と意見書案1件が可決されました。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大により疲弊した地域経済を活性化させるため、自民会派として所属議員34名の意見を取りまとめ、「事業者支援に関する要望書」(令和4年3月23日)を会派として知事に提出しました。



メディア掲載

渡辺勝幸の活動について、メディアで取り上げていただいておりますのでご紹介します。

- 「露に抗議 決議案／県議会が可決へ」(読売新聞宮城版 令和4年3月3日朝刊)
- 「衆院が対中人権決議／表現後退に自民議員落胆」『誤ったメッセージ』懸念」(『産経新聞』宮城版朝刊 令和4年2月2日)

詳細は「渡辺勝幸ウェブサイト」
(<https://katsuyuki.jp/>)をご覧ください。

渡辺勝幸ウェブサイト

渡辺勝幸 が取り組んだ主な政策テーマ及びその活動

県民の皆様から頂いた要望、行政調査・説明等、渡辺勝幸が今期取り組んだ政策テーマの主なものについてご報告します。一つでも多くの県民の声が政策として実現できるようさらなる努力をまいります。

令和4年
2月～4月

- ◆ 若林区内における交通安全施設整備について
- ◆ 幼児教育に関する県要望について
- ◆ 沖野中学校南側道路の通行安全に係る要望について
- ◆ 3月16日発生の福島県沖地震に関する被害状況について
- ◆ 旧姓の通称使用の拡大等夫婦別姓の課題について
- ◆ 歯科医療行政の課題について
- ◆ エネルギー問題の現状について
- ◆ 各地方議会・地方自治体の取り組みについて
- ◆ 救う会宮城・仙台市議会拉致議員連・宮城県議会拉致議員連により、北朝鮮による拉致被害者を救うための署名活動
- ◆ オルレ議員連県外調査による九州オルレ・宮崎小丸川コースについて、木城町ふるさと振興公社の取り組み
- ◆ みやぎ生協メンバーと若林区選出県議議員懇談会
- ◆ 「令和4年度歯科口腔保健事業計画案」について
- ◆ 仙台国際空港の現状と今後の展開について
- ◆ 宮城県暴力団排除条例改正の必要性について
- ◆ ナトカリチャレンジの取組について
- ◆ コミュニティ・スクールについて
- ◆ シルバー人材センターにおけるインボイス制度の影響と課題について

私立幼稚園運営費補助金の引き上げを実現!

2月4日、宮城県私立幼稚園PTA連合会・宮城県私立幼稚園連合会による村井知事・菊地県議会議長への要望及び幼児教育懇談会に宮私幼PTA副会長として参加しました。宮城県庁特別会議室、宮私幼PTA佐々木幸士会長・宮私幼鎌田文恵理事長はじめ役員で、私立幼稚園運営費補助金引き上げや特別支援教育の充実、コロナ対策、防犯対策など要望。村井知事からは令和4年度当初予算について前向きなお話をいただき、この新年度からは園児一人当たり7,926円の単価引き上げが実現、園児の皆さんがさらに楽しい毎日が送れるよう期待しているところです。

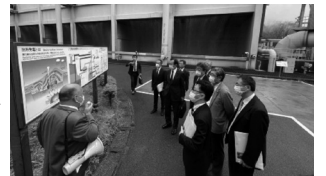


3/28

自由民主党・県民会議 医療福祉議員連盟による東北メディカルバンク機構への視察。東北大学東北メディカル・メガバンク機構では、東日本大震災の被災地の地域医療再建と健康支援に取り組みながら、医療情報とゲノム情報を複合させたバイオバンクが構築されています。

4/27

自由民主党・県民会議の県外調査に参加。九州電力八丁原発電所(大分県玖珠郡)にて、わが国最大の地熱発電所における取組について現状と今後の課題についてうかがいました。また、宮崎県都城市にある訪問看護ステーションゼロワンにおいて、医療と福祉の融合、医療的ケアを必要とする重度の障がい者を対象とした短期入所施設などについてうかがいました。



東北大学大学院で講師として「情報技術経営論」の講義を今年も受け持っています。昨年に引き続きオンライン中心の講義を行っています。東北大の講師は9年目となりました。

この3月で、沖野中学校PTA会長を退任しました。沖野東小学校時代も含め、8年間PTA活動を続けました。若林区内のPTAの皆様はじめ、沖野地域の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

交通指導隊六郷分隊隊長として、議会活動のない日を中心に、沖野東小学校正門前で立哨しています。地域の皆様には交通安全へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。

六郷

4月21日、藤塚地区に複合施設「アクアグニス仙台」がオープン、記念式典が開催されました。温浴施設やレストラン、和食料理やイタリア料理、スイーツなどが楽しめるお店もあり、地産地消、宮城、東北の食材にこだわった料理が提供されます。

荒町

4月24日、「2022荒町商店街振興組合新年度情報交流会」にお招きいただきました。パレスへいあ。来月4月に五橋キャンパスが開校される東北学院大学の先生ともいろいろお話することができました。地域、学校と商店街がしっかりと連携し、大学も含めた新たな街づくりがこれから楽しみです。

若林

4月26日、若葉町内会の街灯設置に関する要望について、町内会役員の皆さんと佐藤正昭仙台市議とともに、若林区役所建設部道路課を訪問し要望内容について協議しました。

沖野

沖野中学校南側道路の通行安全について、町内会・交通安全協会六郷支部・中学校関係からの要望を受け、関係機関へ要望、意見交換を実施しました。



PROFILE

渡辺勝幸プロフィール

昭和50年生まれ仙台市若林区出身。47歳。沖野中、仙台一高(46回応援団長)、慶應義塾大法学部卒。慶應大学大学院在学中より市川一朗参議院議員政策秘書(平成12年より22年)。平成26年仙台市立沖野東小PTA会長。平成27年宮城県議会議員(若林選挙区)初当選、現在2期目。平成29年県議会総務企画委員会副委員長。平成30年県議会スポーツ振興調査特別委員会副委員長、自民党宮城県連青年局長。令和元年県議会環境福祉委員会委員長。仙台市立沖野中PTA会長。令和2年県議会再生可能エネルギー・脱炭素調査特別委員会委員長。現在、自由民主党・県民会議政務調査会長。宮城県議会経済商工観光委員会委員長、少子化対策調査特別委員会委員。自民党・県民会議子ども・子育て議員連盟副会長、防衛議員連盟幹事長等。東北大学大学院非常勤講師(情報技術経営論)。仙台市若林区交通安全協会六郷支部顧問。宮城県私立幼稚園PTA連合会副会長。宮城県障害者スポーツ協会常任理事。

街頭活動

900回!

平成23年より若林区内で継続してきた、朝の街頭活動は令和4年5月12日現在、900回を数えるにいたりました。若林区内で「つくる」ののほりを見かけましたらお声がけください。

個人献金 のお願い

地盤も看板もない渡辺勝幸の政治活動を支えるためには、皆様の力強いお支えが引き続き必要です。B4一枚の活動報告を5000世帯に郵送するだけでも、**84円×5000世帯=42万円**の費用がかかります。切手1枚でも大変助かります。なお、献金いただけます場合は、事務所までご一報くださいますようお願い申し上げます。ボランティア・ポスティング活動へのご支援も合わせてお願いいたします!

県政レポートにつき毎月多くの方からお手紙やメールをいただきましてありがとうございます。

県政活動の参考にさせていただいております。



※公職選挙法により、政治家が選挙区内の人に時候のあいさつ状を出すことは禁止されています。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

県政についての声をお聞かせください

宮城県議会議員 渡辺勝幸事務所

〒984-0816 仙台市若林区河原町1丁目7-29-101
TEL 022-398-6266 FAX 022-398-6269

✉ watanabekatsuyuki@yahoo.co.jp

📧 @katsuyuki510

📘 facebook.com/katsuyuki.watanabe

HP <https://katsuyuki.jp>

